

【安全な医療の提供にご協力頂くために】



*患者さん、ご家族へのお願い

良質で安全な医療を実現するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます

- ・患者さんご自身の健康に関する情報は、詳しく正確にお話ください
- ・検査や治療について十分に理解し、合意の上でお受け下さい。理解・納得できない場合は、説明や情報の提供をお求めください
- ・病院の規則や社会的ルールをお守りください
- ・ほかの患者さんや病院職員への迷惑にならないようご配慮ください

1) 氏名確認にご協力ください

病院には、同姓同名の方や似た名前の方が多数おられます。患者さん間違いを防ぐため、氏名確認にご協力をお願いします。入院中の患者さんには、氏名を記入した「リストバンド」の着用と顔写真撮影をお願いしています。

- ・治療や検査、点滴、採血などの前には、氏名を確認します。お名前はフルネームではっきりと伝えてください
- ・準備されたカルテや書類、お薬はご自身のものかご確認ください
- ・治療や検査の部位は間違っていないか、ご確認ください

*医療者が確認を忘れてしまった場合、患者さんから注意のお言葉をおかけください

2) お薬に関する情報提供にご協力ください

入院中に使用するお薬との組み合わせなどを確認します。また、お薬によっては一時中止しないと手術や検査がうけられないことがあります。

- ・病院から処方されているお薬、自分で購入して飲んでいるお薬、健康食品、サプリメントなどがありましたら、お持ちください
- ・飲んでいるお薬の名前などが書いてある『お薬手帳』『説明書』がありましたら、お持ちください
- ・お薬の飲み方について、注意されていることがありましたら、お伝えください



3) アレルギーに関する情報提供にご協力ください

患者さんによっては、お薬や食べ物でアレルギーをおこす場合があります。下記の経験がある方はお知らせください

- ・食べ物でのアレルギー
- ・お薬による副作用
- ・検査時の造影剤などでの、かゆみ、顔のほてり、めまい、吐き気などの症状
- ・アレルギー体質のご家族がいる方

*お伝え頂いた情報をもとに、安全な食事や薬剤の提供に細心の注意をはらいます。患者さんご自身でもお薬や配膳された食事についてご確認ください



4) 転倒・転落予防にご協力ください

慣れていない環境には、さまざまな危険が潜んでいます。入院時には、患者さんの転倒・転落を起こす危険性を評価させて頂き、患者さんやご家族の方に転倒・転落防止策の必要性を説明し、協力をお願いしております。不慣れた環境や病状の変化により筋力や注意力が低下し、思いがけず転んでしまうことがあります。歩行や移動に不安があれば、看護師をお呼び下さい

歩きやすい靴を履く（スリッパははかない）

足に力があるかを確認してから動き出す

動きやすい服装に着替える

ベッドの高さを低くする



* 『転ぶはずはない』と思っているあなたへ』の院内放送番組を是非ご覧ください！

5) 感染対策にご協力ください

入院中は、治療の影響により、普段よりも身体の抵抗力が弱ることがあります。

院内感染を予防するためにも、以下の点にご協力お願い致します。

- 1) 手洗い…食事の前、トイレのあと、病室に出入りするとき
- 2) 咳エチケット…咳やくしゃみがあるときは、マスクをつけてください
- 3) ご面会…入院中の患者さんが風邪やインフルエンザに感染してしまうと、治療が遅れたり入院が長引くなど、入院生活に支障をきたします

- ・入院患者さんへの感染を防ぐためにも、病室へはいるときには、手を洗ってください
- ・風邪症状や下痢、吐き気の症状がある方の面会をご遠慮ください



6) 病院でのマナーをお守りください

当院では患者さんの安全を守り、診療が円滑に行なわれるために、以下のような迷惑行為を認められた場合には、外来・入院を問わず以後の診療をお断りする事があります。

- 1) 他の患者さんや当院職員に対し、暴力を振るった場合、もしくはその恐れが強い場合
- 2) 大声や暴言等の他の患者さんへの迷惑行為や、当院職員の業務を妨げた場合
- 3) 危険な物品の院内への持ち込みや、当院の備品・設備を故意に破損した場合
- 4) 飲酒した場合
- 5) その他、迷惑行為により診療が妨げられた場合

7) 「おや？ 大丈夫？」 と思ったら必ずご確認ください

分からないことや少しでも「変だな？」と感じたときは必ず医師や看護師、セラピスト、臨床検査技師や薬剤師など医療者にご確認ください。

また病院内で危険だと感じたときや「ヒヤリ」「ハット」した経験はお知らせ下さい。安全対策につなげていきます。